

農政建設

農林水産業に関する経済施策や道路の建設・管理、ガス・上下水道事業などインフラ整備に関する議案等を審査しています。

注目!

基幹管路の耐震化 市民への影響は?

水道事業 基幹管路の耐震化

- ・国の交付金を活用し、浄水場から病院や避難所への基幹管路を優先的に整備することで災害に強い水道給水網を構築し、安全で安定した給水を図ります。
- ・令和2年度末までに基幹管路耐震適合率を36.7%と見込み、令和4年度までに39%を予定しています。



城山浄水場

■令和2年度水道事業会計予算

問／耐用年数を超過した基幹管路は令和2年度末で36.7%が更新済みとされているが、今後60年かけて耐震化事業を行う間に、漏水事故によって市民への影響の可能性はあるのか。

答／上越市は全体の約90%を城山浄水場、正善寺浄水場、柿崎浄水場の3つで賄っており、それぞれの管がつつながっている。もし被害を受けた場合でも他の浄水場から融通することで影響の範囲をかなり限定できるのではないかと考えている。耐用年数が50年を超え、至急入れ替える必要がある口径の大きなものが約4キロメートルあり、令和4年までに順次入れ替えを進めていきたい。

■令和2年度一般会計予算

関川の中央橋付近の中州の動きは

問／関川の中央橋付近の大きな中州が支流の流れを阻害し、地域住民が心配している。国の動きはどうか。

答／その地点は非常に土砂がつきやすく、流れが複雑になる場所であり、注視すべき区間と国土交通省の高田出張所等から聞いている。国と意見交換を行う中で、予算はついていると聞いているが、配分箇所や時期までは聞いていない。治水安全上の観点から、引き続きお願いしていきたい。

■令和元年度一般会計補正予算

台風19号の復旧進捗状況は

問／名立区東蒲生田の用水路の仮設状況も含め、令和元年10月の台風19号による被災の復旧は順調か。

答／災害復旧事業は順調である。名立区東蒲生田の現地においては、崩壊した山腹の用水路に至る仮設道路整備も順調に進んでいる。県の説明によると、4月20日過ぎ頃に東北電力によるポンプの供給電力の架設が行われ、県でも5月上旬の通水開始に向け、精一杯努力していくと聞いている。



関川中央橋～稲田橋間の中州